

## 福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 31日

学校名 福井市一乗小学校

校長氏名 宮本 正三

### 1 今年度の目標(学校の約束)

- ①一乗の環境や地球環境について学習します。
- ②ごみを減らし、リサイクルに努めます。
- ③自分たちの学びや活動を、保護者や地域の人にも広げます。

### 2 取組内容

#### ①環境学習

- ・一乗地区の自然環境について、総合的な学習の時間を使って、学習します。
- ・総合の時間だけでなく、教科の学習の中でも、環境やSDGsを意識した学びを行います。

#### ②ごみの分別・資源回収

- ・教室内であまったチラシなどは、一カ所にまとめて、資源回収にもちこみます。
- ・保護者や地域の人と連携して、古紙やアルミ缶の回収を行います。

#### ③学びの発信

- ・保護者や地域の人が参観する「一乗ひろば」で、これまでの環境についての学びや、自分たちの取り組み、お願いしたいこと等を発表する。
- ・その場の発表だけでなく、ポスターやデータをまとめた映像を使って、多くの人に向けて発信する。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③学びの発信では、人・もの・こと・社会・自然などとのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解し、それらを多面的、総合的に考える力を身につける。

(多面的・総合的に考える)

## 福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">一乗小学校</h1>	
<p><b>1 今年度の目標（学校の約束）</b></p> <p>①一乗の環境や地球環境について学習します。</p> <p>②ごみを減らし、リサイクルに努めます。</p> <p>③自分たちの学びや活動を、保護者や地域の人にも広げます。</p>	
<p><b>2 取組内容</b></p> <p>①一乗の環境や地球環境について学習する。(環境学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一乗地区の自然環境について、総合的な学習の時間を使って学習した。</li> <li>総合の時間だけでなく教科の学習の中でも、環境やSDGsを意識した学びを行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>②ごみを減らし、リサイクルに努める。(ごみの分別・資源回収)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室内であまったチラシなどは、一カ所にまとめて、資源回収にもちこんだ。</li> <li>保護者や地域の人と連携して、古紙やアルミ缶の回収を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③自分たちの学びや活動を、保護者や地域の人にも広げる。(学びの発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域の人が参観する「一乗ひろば」で、これまでの環境についての学びや、自分たちの取り組み、お願いしたいこと等を発表した。</li> <li>その場の発表だけでなく、ポスターやデータをまとめた映像を使って、多くの人に向けて発信した。</li> </ul>	



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

③学びの発信では、人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力を身につける。

（多面的・総合的に考える）

3  
見直し

【具体的効果】

①環境学習

- ・環境の中で生き物はつながりあって生きていることや、人の暮らしや働きが大きく関わっていることに気づいている。
- ・活動や体験を通して、地域のもつよさやそれに関わる人々について知ることができている。また、与えられるだけでなく、自分たちが働きかけることで、自分やまわりの生活が豊かになることに気づいた。

②ごみの分別・資源回収

- ・教室内で出る物を、ゴミ箱に入れるのかりサイクルBOXに入れるのか考えたり、学校内の集積場所でリサイクルする物を分別したりしている。材質を考えることで、リサイクルするためにどのような作業が必要かを考える機会となっている。
- ・年に2回の資源回収で、地域を回って古紙やアルミ缶を集め、集まった空き缶をつぶした。各家庭では少量でも、地域全体ではたくさんの量になることを実感した。保護者の働く姿を身近に見ることができ、将来の姿を見通す場面にもなった。

③学びの発信

- ・11/5（日）の「一乗ひろば」や11/8（水）の「朝倉ガイド」のなかで、地域の方や観光客相手に発信した。自分の学びを自分たちの言葉で、相手に伝わるように表現することができた。
- ・3・4年生は、12/20（水）の「福井県緑の少年団活動発表大会」のなかで、学んだ内容を発表した。人も他の生き物も、環境や生き物同士の関わりの中で生きていることを発信していた。

【改善点】

- ・ごみの分別や資源回収は、地味で代わり映えのない活動になりがちであるが、全教職員が同じ思いで活動にあたり、児童への声かけも続けていきたい。
- ・地域とともに取り組む環境活動を、今後も続け、発信までを一連の流れとして行いたい。
- ・外来植物の駆除活動を続け、在来生物と外来生物の関係についても学びを進めていきたい。